

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名		第三者評価受審年度		
光の家就労ホーム		5年度		
項目	評価結果に基づく現状分析 (5年度)	改善計画 (5年度10月時点)	実施状況 (5年度末時点)	実施状況 (年度末時点)
利用者の工賃支給額の維持・向上や職員の業務負担の軽減を図るためにも、支出管理など事務作業のシステム化が期待される。	商品開発などの職員の努力により売上増となっているが、光熱水費・燃料費・食材費などが高騰し、経費がこれまで以上に増えている。そのため、事業所では、収入管理だけでなく、支出管理も効率的に処理できるようさらなる事務のシステム化を図っていくことを課題としている。工賃支給額の維持・向上や職員の業務負担の軽減を図るためにも収支管理などの事務作業のシステム化を図り、より効率的な運営への取り組みを期待する。	収入管理表だけでなく、以下の支出管理表のシステム化を図る。 1.支出管理表の帳簿に記入すれば支出項目毎に即日集計できるシステムを構築する。 2.1の支出管理表と収入管理表の集計結果を組み合わせ収支の状況(利益状況)を確認できるシステムを構築する。 3.2の収支状況から毎月の利益状況を確認し利用者工賃の維持・向上に繋げる情報源とする。	日々の収入管理表及び支出管理表の帳簿の記入をすれば即日の収支状況が確認できるシステムを構築した。その結果、適時、利益状況を確認することができ利用者工賃の維持・向上及び事務の効率化を図ることができた。	
毎年、利用者が増えているため、利用者・職員の防災へのさらなる意識向上への取り組みを期待する。	法人全体で防災活動員会を設置し、防災訓練を計画・実施している。事業所では計画に沿って、月1度、防災訓練を実施し、避難路の確認、職員の初期消火、避難誘導、法人本部からの応援体制の確認などを行っている。事業所では、各職員の防災への意識向上を図るため、各場面における防災の動きを動画にする等、各現場職員が防災に対して理解を深めていくことを課題としている。毎年、利用者が増えているため、利用者・職員の防災へのさらなる意識向上への取り組みを期待する。	実際の防災訓練を動画で撮影し、地震・火災発生時の初期対応、応援の動き、初期消火、連絡・報告の仕方、避難誘導等の動きを場面ごとに説明を加えたマニュアル動画を作成する。	実際の防災訓練を用いたマニュアル動画を作成し、3月末の新採用職員研修にて使用し、その理解を深めることができた。	
事業所の多様な課題に率先して取り組むことができる次期リーダー層の育成に向けた具体的な取り組みを期待したい。 について	リーダーの育成は中長期計画の課題の一つに挙げており、当事業所は比較的若手職員も多く、特に中間層の職員が事業所全体を俯瞰して業務に取り組む必要がある。事業所ではキャリアパスを策定して、現場職員とリーダー層の目指すべき職員像と課題の共有が可能となった。一方でリーダー層の育成に向けた具体的な取り組みも必要であり、新任職員のチューターとして指導することで成長につながった好事例もあることから、後輩職員に指導する機会や事業所の課題に中心となって取り組む機会を設けることなどを通じて、次期リーダーの育成に期待したい。	リーダーの育成のため、以下の取り組みを計画した。 ①対象職員に対して職員個別計画にてマネジメント項目を重点課題とし、本人にフィードバックしてリーダーとしての意識向上を促す。 ②リーダーに必要な座学の研修を受講する。 ③毎月のチームミーティングにて議事進行役を務めてもらいセクションの現状課題の把握と課題に対する実行状況を確認することでセクション全体を見る視点を養う。	左記の改善計画に基づき、対象職員に対して以下の取り組みを実施した。 ①人事考課のフィードバック面接にてチーフ候補であることを伝えマネジメント能力向上が課題であることの共通認識を持った。 ②強度行動障害研修、社会福祉主事の研修、オンライン研修にてマネジメントに関する研修を受講した。 ③ミーティングの議事進行役を務めることで全体を見る意識が持てるようになってきた。	

※この様式は、「日野市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。